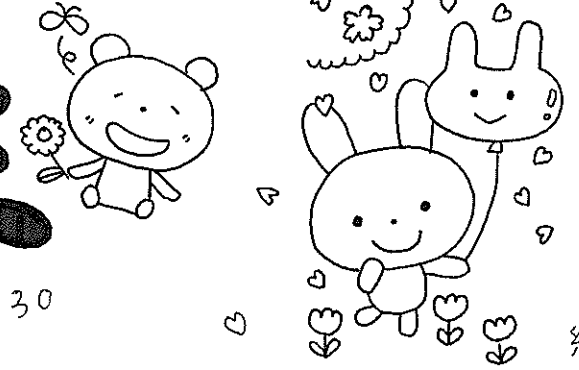


おひさま

H24. 3. 30



おわかれかい

3月23日 お誕生会とお別れ会がありました。今日の日の為に元氣張って練習してきました。“ピクニック”の曲で歌ったり、踊ったりしました。動物の鳴き声の部分は、各クラス名の動物を表現しました。練習の時からノリノリでした。本番では、少し取っかしがらみで踊らない子もいましたが、全員ステージに上がる事ができました。クリスマス会の際は、取っかしがらみでいたりと泣いてしまった子も、お別れ会の際は堂々と踊る姿が見られ、とても嬉しく思いました。きりん組さんの発表の時は、「すごい」「かわいい」などの声が聞こえてきました。

きりん組さんは うさぎ組さんにとって“小童れ”の存在のようです。

たくさん遊んでもらい、お世話をしてもらった、大好きなきりん組さんに、“ありがとう”の気持ちを伝える事ができました。

優しくしてもらい嬉しかった気持ちが、相手と笑いやる気持ちへと繋がってくれば良いなと思います。私達も、自然な優しさで角虫れ、本当にあたたかい気持ちになりました。子ども達のかわいすぎいですね。あらためて実感しました。“優しい気持ち”で素敵ですね♡

「もうすぐ二あらぐみになるんやなあ！」と、一つ大きくなる喜びにワクワクしているうさぎ組さんです。この1年間ふり返ると子ども達は色々な体験をしてきました。おうちの方と離れるのが寂しくて泣いてしまった事、お友達とケンカした事、お友達と一糸者に楽しく遊んだ事... そんな一つ一つの事が、バモイ本も大きく成長させてくれたのではないかと思います。何より、笑顔が沢山見られるようになった事とても嬉しく思います。そして保護者の皆様、1年間温かく見守って頂きありがとうございます。

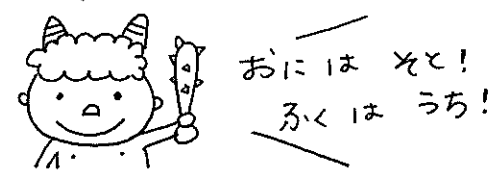
1がっ サンドイッチ型抜きCooking

1月26日 サンドイッチの型抜きのCookingをしました。エプロン、三角巾をとても嬉しそうに着ていました。皆の大好きなチョコクリームとチーズの2種類を作りました。スプーンも使って上手にぬってました。作っている途中にペロッとつまみ食いをしている子も... ちゃっ ちゃっ 言いながら楽しんで取り組めました。

やきもちたいかい

きりん組さんにお手伝いをしてもらい、芋を洗ったり、新聞紙アルミホイルで巻きました。“ハハハ”おもしろく食べていました！もっとおかわりがほしかったようです。こじゃえり冬は焼き芋がおいしかったですね♡

2がっ 豆まき



大雪の為、今年は2月10日に豆まきをしました。今年初めて鬼を見るうさぎ組さん。「豆いっぱい投げる」「僕、鬼やっつけるし」なんて、元氣だった皆... ホールにいる時に、2階から鬼が!! きっと大泣きするんだらうなと聞いていたか? あれあれ?? 泣き声が聞こえないぞと聞いて見ると、小布すぎて固まってしまっていました。しかし、鬼が近づいてくると「うわ〜んる」と大泣きでした。泣きながらも豆を元氣張って投げている子もいました。しばらくホールに出ると2階を見て、鬼がいなくなかをチェックしていました。皆の心の中の弱い鬼も逃げていったことと思います。

3がっ ひなまつり

3月2日にひなまつりを行いました。元氣張って、とても可愛い、おひな様を手作り、飾りました。大正琴サークルの方に来て頂き、素敵な大正琴の音に合わせて、「うれしいひなまつり」「大きな栗の木の下で」などを歌いました。大正琴に興味津々のうさぎ組さんでした。

保護者のみなさまへ

「お部屋に入りますよ。」の声も届いていない様子で、外遊びを始めると遊び続けていた春から秋。冬の雪遊びの時には途中で遊びをやめてお部屋に入れるようになりました。「トイレに行こう」「イヤ」「この絵本読もう」「イヤ」「給食、食べようか」「イヤ」とイヤイヤ期を迎えた子ども達も今では「給食にしよう。」の声かけに手を洗って、靴からお箸を出して準備を整えることができるようになりました。日々、様々な成長を見せてくれる子ども達と共にこの1年とても楽しませてもらいました。保護者の皆様には、ご迷惑やご心配をお掛けすることも多々あった事と思いますが、たくさんのご支援を頂きありがとうございます。今後のお子様達の成長を楽しみにしています。

4月の頃は、涙を流す事がバツグンだったうさぎ組さん。でも、色々な事を体験しのリコネする事で、笑顔が沢山見られるようになりました。そして、その笑顔が自信へと変わっていきまして、自分の事が一番! だたのか、お友達の事を気にかけられるようになりました。お兄さん、お姉さんに、優しくしてもらった事で、自分達も、自分より、小さなクラスのお友達に優しく、優しい気持ちが芽生えまして。そのような、子ども達の成長を感じ、私自身も、成長する事ができました。うさぎ組のみんなに、沢山、「パワー」をもらって、沢山、ご迷惑をお掛けし、すみませんでした。これ、本当にありがとうございます。

伊藤 ひさ子